

一般会計補正予算

質疑

大山開山 1300年

【吉原議員】

大山寺もこの機会を逃すとなかなか浮揚できない。準備委員会の内容と構成は、

【地方創生本部署
務局長】

地方創生交付金を活用して取り組む事業である。地域全体の機運を盛り上げるための研修会や講演会などを行う。

構成員は経済界・宗教界・行政・住民の代表などとし、来年度はさらに広域的な実行委員会を立ち上げ、観光局が中心となって推進する。

宝くじ 助成

【大森議員】

宝くじ助成に該当した事業の内容は。

【企画情報課長】

2団体が採用された。1件は、前集落の伝統行事に使う太鼓・投光器・提灯などの購入に活用する。もう1件は名和こども太鼓で、和太鼓20個、そのほか備品の購入に活用する。



名和こども太鼓

空き家 家財道具

【大森議員】

個人負担が本来だと思いが、処分支援の理由は。

【企画情報課長】

家財道具の処分費用の負担が、空き家登録推進の障害となっている。

登録物件を増やし、若者の定住促進をはかるため、成約になった時点で1物件上限10万円を助成する。

若者や子育て世代に限定して実施する。

ナラ枯れ 被害

【米本議員】

ベルト地帯を設けて拡大を防げないか。

【農林水産課長】

被害が町内広域に広がっており、現状では難しい。東からだけでなく西からも被害が出ている。



ナラ枯れ

AED

【岡田議員】

宝くじの補助金を活用してAED（自動体外式除細動器）を導入する集落がある。初期の救命措置にはたいへん有効だと思いが、全集落に設置できないか。

【総務課長】

1台20万円以上し、バッテリー交換など維持費も必要となる。本年度も体育館などへの設置を予定している。

当面は公共施設を中心に整備していく。

教育委員の定数削減の条例

質疑

定数減

【野口昌議員】

教育委員の定数を減らす理由は。

【町長】

定例監査のなかで、各種委員会や審議会の定数見直しを求められた。

国の施策によって平成20年度から保護者の代表委員を加えて6人としてきたが、5人に戻すこととした。

【教育長】

鳥取県内では、県の教育委員会だけが定数6人であり、ほかの市町村はすべて5人となっている。